

【小施策評価(令和元年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	4	人が集い活力を生むまちづくり	小施策 主管課等	立地創業支援室	
施策	23	工業の振興	評価 責任者	高橋 博文	内線 8120
小施策	23-4	創業・起業の支援	評価 シート 作成者	柳原 哲史	内線 8131

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	⇒	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
産業の新陳代謝を図るためには、起業促進も重要であることから、新たなサービスの提供、新ビジネスモデルによる創業など、起業をする者、創業間もない事業者への経営支援などを行う必要がある。		創業を目指す人や新事業を展開しようとする企業などを積極的に支援する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
起業を希望する者		多くの者に起業させる。

小施策の成果指標の達成状況・評価(令和元年度実績)

実績値の推移				実績の評価	
指標① 新規創業者の数	単 位	目指す方向	成 果 点	⇒	成 果 の 要 因 分 析
当初値 (H25) 79	件	↑	・周辺市町と連携して実施した起業家塾@もりおかや市産業支援センターの支援により6件の新規創業があった。		・ホームページ・チラシ等による創業者向け施策の情報発信を行い、創業希望者への周知が図られた。
R1目標値 20					
R6目標値 40					
			問 題 点	⇒	問 題 の 要 因 分 析
			・起業家塾を受講した創業者または創業希望者に対するアフターフォローが不足している。		・アフターフォローの仕組みづくりができていない。

今後の方向性(令和2年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R2年度着手済または着手予定 ☆…R3年度以降の着手を検討
<ul style="list-style-type: none"> ★ 引き続き、同様の創業者向け施策の周知を実施する。 ★ インキュベーション施設連絡会議の実施により起業家情報を共有する。 ★ インキュベーション施設への入居メリットなどの情報を、起業家塾で周知するとともに、アフターフォローやホームページ等により創業者に周知する。 ★ 地域クラウド交流会などのインキュベーション施設の指定管理者の新たな取組により、創業機運を醸成し、創業しやすい環境整備を行う。 ★ アフターフォローの充実に向け、仕組みを検討する。 	